

## 平成27年度日本海学研究グループ支援事業

### 「富山県内の小河川流域の生物相の普及啓発活動」について

#### 富山県小河川流域調査グループ

#### 目 的

富山県内の小河川流域の生物について幅広い層の県民に知ってもらうため、普及出版物を印刷し、ホームページ上で公開することにより、環日本海地域の生物相と生物多様性への理解を深めてもらうことを目的とする。

#### 実施内容

##### (1) 普及出版物の作成

平成18年～24年にかけて富山県生物学会が県内各地で実施してきた小河川流域((舟川、角川、栃津川、黒川、山田川(小矢部川流域)、渋江川、仏生寺川、余川川、猫池))の生物調査の成果をもとに、富山県小河川流域調査グループ(富山県生物学会を母体とする)のメンバーが執筆し、冊子「富山の小河川流域の生き物」を印刷した。項目は各河川の植物群落、底生動物、水生昆虫、魚類、両生類・爬虫類、ツキノワグマの採食痕跡と哺乳類及び各分野の富山県内での特徴からなる。本冊子の特徴は、川ごとに分かり易い動植物分布図、写真、解説から構成されることである。

冊子は、B5判、カラー48ページで、700部発行した。編集・発行は富山県生物学会・富山県小河川流域調査グループである。

学校教育や生涯学習等に利用してもらうため、富山県内の小中学校、高校、支援学校等、県立図書館、県内市町村図書館、県内大学図書館、自然科学系博物館、植物園、水族館、動物園等へ配布した。

10月17日に富山県中央植物園で開催された公開シンポジウム「ふるさとの海と森の間にすむ生き物たち」で、今回印刷した出版物を参加者に配布した。

##### (2) ホームページでの公開

出版物の配布に加え、富山県生物学会のホームページ [http://www.geocities.jp/toyamaken\\_seibutugakkai/](http://www.geocities.jp/toyamaken_seibutugakkai/) にPDF版を公開した。

## 効 果

県内の代表的な小河川流域の生物について、分かり易い分布図や写真と解説からなる普及出版物を印刷し、教育関係、図書館、博物館等へ配布し、さらに富山県生物学会のホームページで公開を行ったことにより、児童・生徒や一般県民等が容易に閲覧できるようになった。特に学校関係や図書館等への配布によって、理科教材や郷土教材として活用が容易になった。また、冊子の内容に関連したシンポジウムの開催により、一般県民への理解が深まったと考えられる。このような普及啓発活動により、富山の身近な小河川流域の生物について理解が深まり、さらに、環日本海地域の生物や生物多様性への理解や興味、関心が深まっていくものと考えられる。